

2020年10月30日

株式会社講談社
KCJ GROUP 株式会社

講談社がキッズニア東京にパピリオンを出展 大人気シリーズ「講談社の動く図鑑 MOVE」、 さがしもの絵本「どこ？」をモチーフに、編集者の仕事を体験 オープン日：2020年12月17日(木)

株式会社講談社(東京都文京区、代表取締役社長:野間 省伸 以下、講談社)と KCJ GROUP 株式会社(本店:東京都千代田区、代表取締役社長:圓谷 道成 以下、KCJ GROUP)は、KCJ GROUP が運営することの職業・社会体験施設「キッズニア東京」(東京都江東区)に、講談社がオフィシャルスポンサーとなる『出版社』パピリオンを2020年12月17日(木)にオープンすることを決定しましたのでお知らせいたします。



パピリオン外観(イメージ)



パピリオン内観(イメージ)

本パピリオンで子ども達は、“出版社”の仕事内容や“編集者”の役割を理解したのち、「図鑑」または「絵本」の編集に挑戦します。子ども達は、編集者となり、大人気シリーズ「講談社の動く図鑑 MOVE」、さがしもの絵本「どこ？」をモチーフに、写真撮影や写真のセレクトをしながら、専用タブレットで編集作業をし、世界に1冊だけの自分の本をつくります。成果物として、スタッフクレジットに自分の名前が入った絵本や図鑑を持ち帰ることができます。

子ども達は、「出版社」パピリオンで、読者の心に残る本をつくるためには、好奇心をもっていろいろなことに向き合う姿勢が大切だということを知るとともに、企画を立て、1冊の本を生み出すまでの体験を通し、「本を編集するおもしろさ」「本をつくる喜び」「本を尊ぶ気持ち」を学びます。

キッズニア東京へのパピリオン出展について、株式会社講談社は次のように考えています。

「講談社は総合出版社として多様な出版物を展開し、たくさんの編集者が働いています。編集者の仕事は、世界中のおもしろいこと、ためになることを『編集』して読者に伝えること。それは、雑誌でも、書籍、漫画でも同じです。未来を担うたくさんの子ども達に、編集者の仕事を体験してほしいと思います」

■パピリオン概要

パピリオン名	: 出版社
職業名	: 編集者
定員	: 各回4名 ※新型コロナウイルス感染予防や拡大防止の観点により、定員を制限しています
対象年齢	: 3~15歳
所要時間	: 決定次第お知らせいたします
給料	: 8キッヅ
成果物	: 制作した「図鑑」または「絵本」
体験内容	: 編集者として「図鑑」または「絵本」の編集を担当します。 企画を立て、新刊を生み出すまでの体験を通して、「本をつくる喜び」を学びます。
スポンサー	: 株式会社 講談社

■「図鑑の編集」アクティビティのポイント

世界中から集めた驚きの「おもしろ生きもの」写真を編集して、自分だけの図鑑がつくれる！



「講談社の動く図鑑 MOVE」をベースに、世界中から集めた驚きの「おもしろ生きもの」写真を編集して、自分だけの図鑑をつくります。編集部が事前にセレクトした写真の数々、見ているだけでワクワクするこの写真たちをどう編集しよう？「恐竜みたいな鳥がいるの！？」「パンダの指は6本あるの！？」「水の上を走れる生きものがいるの！？」など、自分たちが得た驚きと感動をどうしたら読者に伝えられるだろうか、と考えながら一冊の図鑑を仕上げます。

■「絵本の編集」アクティビティのポイント

さがしもの絵本「どこ？」(作:山形明美)のジオラマ撮影に挑戦しよう！



さがしもの絵本「どこ？」(作:山形明美)のジオラマ撮影に挑戦します。木が茂り、動物たちが楽しそうに暮らす「本の森」のジオラマの中に、りんごやケーキなど、小物を配置していきます。テキストと照らし合わせながら、読者にすぐ見つけられないよう、上手にさがしものを隠していく工夫も必要です。ジオラマ撮影後は、専用のタブレットを使って、表紙のデザイン、キャプションの言葉や色などを考えながら編集作業を進め、世界でたった一冊のミニ絵本「どこ？」を完成させます。

山形明美(やまがた あけみ) プロフィール

静岡県生まれ。造形作家。おもに幼児雑誌や絵本などで、人形やぬいぐるみ、ジオラマ製作を手がけている。人気の「どこ？」シリーズは、『どこ？ つきよのぼんのさがしもの』『どこ？ もりのなかのさがしもの』『どこ？ とびらのむこうのさがしもの』『どこ？ ふしぎなまちのさがしもの』『どこ？ ながいたびのさがしもの』『どこ？ めいろでさがしもの』『どこ？ どうぶつたちとさがしもの』『どこ？ クリスマスのさがしもの』、最新作『どこ？ パーティーのさがしもの』も含めて全9作。姉妹編として「どこミニ」シリーズがある。

〈参考資料〉

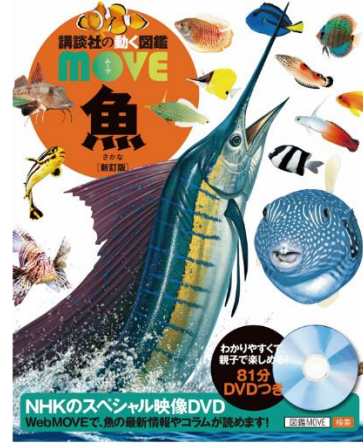
■「講談社の動く図鑑 MOVE」シリーズについて



講談社の動く図鑑 MOVE 動物



講談社の動く図鑑 MOVE 昆虫



講談社の動く図鑑 MOVE 魚

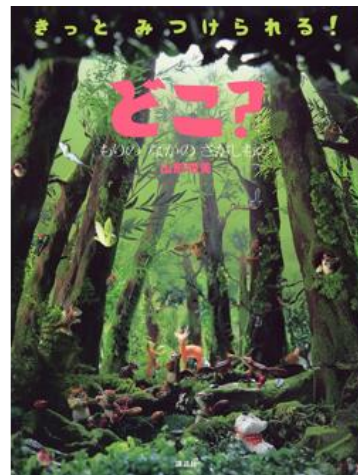
今年創刊 10 周年、シリーズ累計 430 万部を突破した「講談社の動く図鑑 MOVE」は、全く新しいコンセプトの新時代の図鑑です。「情報がカタログ的に一覧になっているもの」というのが従来のオーソドックスな図鑑ですが、MOVE では、迫力のある写真やイラストに DVD による動画を組み合わせることで「躍動感があり印象的な情報」を実現しました。ただ情報を調べるだけでなく、「大迫力の写真を見て興味を持つ」「おもしろい映像を観て、好きになる」「もっと知りたいから、何度でも DVD を観る。何度でも図鑑を読む」……それが「動く図鑑 MOVE」です。この図鑑を読んだ読者が、一生おぼえているような、印象的な誌面作りを目指しています。(担当編集 M)

<http://zukan-move.kodansha.co.jp/>

■さがしもの絵本「どこ？」シリーズについて



どこ？ つきよのぼんのさがしもの



どこ？ もりのなかのさがしもの



どこ？ とびらのむこうのさがしもの

さがしているうちに見つけずにはいられなくなってしまう、大人気の「どこ？」シリーズ。2003 年に第 1 作『どこ？ つきよのぼんのさがしもの』が刊行されてから、家族みんなで楽しめる絵本として、累計 70 万部のロングセラーとなっています。いちぼんの魅力は、造形作家・山形明美氏がうみだす、物語感あふれる精巧でかわいらしいミニチュア世界。なんと、ひとつのジオラマを作つくるのに 1~2 カ月、1 冊の絵本ができあがるまでには 2 年も長い時間がかかっています。さがして見つける喜び、物語を旅するときめきが、ぎゅとつまっている絵本です。ぜひシリーズでお楽しみください。(担当編集 N)

<http://ehon.kodansha.co.jp/>

〈参考資料〉

■株式会社講談社について



株式会社講談社は明治42(1909)年創業、令和2(2020)年11月をもって111年を迎える総合出版社です。初代社長である野間清治が掲げた創業精神「おもしろくて、ためになる」出版を通して、人々の暮らしの役に立ち、心の豊かさに資することをモットーに、社員ひとりひとりが旺盛な出版活動に取り組んでいます。

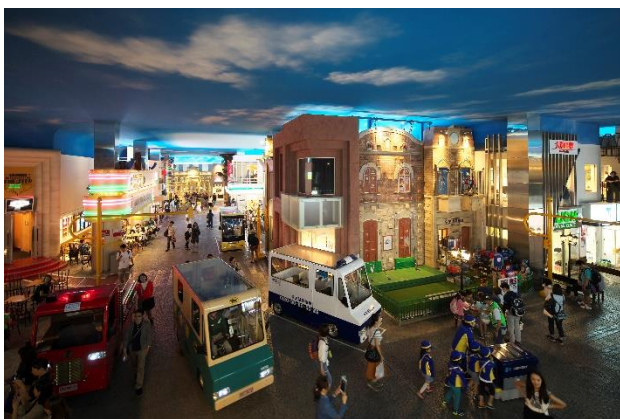
2019年度、講談社の「紙の出版物」総発行部数は、およそ2億2900万部にのびました。近年はさらに、時代に即して、コンテンツを展開する幅を大きく広げ、海外事業、電子書籍をはじめとしたデジタル事業、ドラマや映画などの映像化・アニメ化といったライツビジネスにも積極的に取り組み、大きな実績をあげています。

また、読書推進事業「本とあそぼう 全国訪問おはなし隊」をはじめとしたCSR活動も活発です。そのようななか、2020年1月には、国連が世界中の新聞社や出版社、放送局などとSDGs(持続可能な開発目標)活動を推進させる目的で設立した「SDGメディア・コンパクト」に加盟。世界レベルでの文化の向上と平和で豊かな社会の実現に向けて、講談社だからこそできる活動に今後も邁進してまいります。

<https://www.kodansha.co.jp/>

<https://www.kodansha.co.jp/ohanashi/>

■キッズニアについて



キッズニアは、3歳から15歳までの子ども達が職業体験を通して社会の仕組みを学ぶことができる“子どもが主役の街”。施設内は、現実社会の約2/3サイズの街並みに、実在する企業が出展する約60のパビリオンが建ち並び、約100種類の仕事やサービスを本格的に体験できます。「キッズニア東京(2006年10月開業)」、「キッズニア甲子園(2009年3月開業)」の国内両施設において、これまでに延べ2000万人以上が来場しています。キッズニアのコンセプトは、エデュケーション(学び)とエンターテインメント(楽しさ)を合わせた「エデュテインメント」。子ども達は好きな仕事にチャレンジするとともに、専用通貨「キッズ」を稼ぐ、貯める、使うといった経済活動も能動的に行っています。

<http://www.kidzania.jp/>